

令和4年度第1回宇部市環境審議会議事録

日時：令和4年6月30日(木) 13時30分～14時55分

場所：宇部市総合福祉会館4階 大ホール

1 議 題

第二次宇部市環境基本計画進捗状況（宇部市の環境）について

2 報告事項

(1) 熱エネルギー代替廃棄物受入処理設備設置に伴う環境汚染の未然防止対策について

(2) 協定値の逸脱について

3 出席者（順不同、敬称略）

<委 員>

市 民：加藤泰生、吉武懿子

学識経験者：奥田昌之、小林剛士、山本浩一、三上真人、福代和宏、藤野純一、
吹上静恵

企業代表者：毛利勇、高瀬太

民間団体：竹重真由美、木原裕子、新谷弘昌

<宇部市>

市民環境部：原田部長、黒瀬次長

環境政策課：村岡課長、西岡副課長、大村係長、高瀬係長、高尾主査、岡主任

廃棄物対策課：正木課長

環境保全センター施設課：田中課長

4 議事概要

<事務局>

宇部市環境審議会条例第5条第3項の規定により、本日の会議が成立していることの確認（委員数16名に対し過半数の12名参加。開始後2名参加）。

配布資料の確認。

<福代会長>

宇部市も暑さに見舞われているが、今年の暑さの直接の原因は高気圧が2つ重なっているという話だが、地球温暖化の影響が無視できないと言われている。改めて環境保全、地球温暖化対策の重要性を再認識している。本日は事務局からの説明や報告事項があるが、忌憚のない意見を聞かせていただきたい。

<事務局>

「宇部市の環境」第2,3章に基づき説明

<三上委員>

43 ページの降下ばいじん量について、目標値 4t/㎥/月を満たしてはいるが、3.89t/㎥/月と目標値に近い値となっており、平成 27 年度については超えている。原因をおさえた方がよいと思うが、思い当たることがあれば教えてほしい。

<事務局>

参考資料 9 ページに月ごとの降下ばいじん量のデータがある。9 月が全域平均で 10t と平均を引き上げている。この月は台風の接近が 2 度あり、その影響で溶解性成分中の塩素イオン濃度、三酸化硫黄の数値が高かったことが一因と考えている。前年度は台風が少なかったと記憶しており、3.09t と低い状況だった。したがって、お尋ねの原因については、9 月の台風の影響と考えている。

<事務局>

「宇部市の環境」第 1, 4, 5, 6 章に基づき説明

<福代会長>

(第 2 章について) 51, 52 ページの河川の水質について、いろんな指標で環境基準を達成している中で、大腸菌群数が低い適合率という状態が続いているが、どのように解釈したらよいか。

<事務局>

大腸菌群数というのは、糞便性の菌ということで指標が定められているが、現在の分析方法では糞便性以外の自然に存在する大腸菌が検知されてしまう。これは令和 3 年度までの指標であり令和 4 年度からは大腸菌数という新たな指標が用いられており、これであれば、ほぼ糞便性の大腸菌に絞って検出されてくるので、今後結果を注視していきたい。

<福代会長>

指標が変わって、現実に即したものになるということか。

<事務局>

その通りです。

<福代会長>

法律なり規則なりで測定しているが、現状とは離れている部分があるので指標が変わって、それによりもっとしっかりしたものが把握できるという解釈か。

<事務局>

その通りだが、今年からなので結果を見ていく必要がある。

<UBE 三菱セメント株式会社宇部セメント工場>

資料 1 に基づき説明

委員からの質問等なし

<UBE 株式会社宇部ケミカル工場>

資料 2 に基づき説明

委員からの質問等なし

<事務局>

委員の皆様には忙しい中、また暑い中、長時間ありがとうございます。昨年度は宇部市環境基本計画の策定にお力添えいただいたこと改めてお礼申し上げます。本日もいただいたご意見を当市の取組に反映させていきたいと考えております。